



令和8年を迎えて

札幌報恩会

理事長 村田英男

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。令和8年の冒頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様のご支援のおかげで、無事に新しい年を迎えることができました。誠にありがとうございます。

気持ちも新たに、更に成長し続けていける法人となるよう職員一同努めて参ります。令和8年が皆様にとって、幸多い一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和8年 元旦

～さらなる一歩の前進をめざして～

毎日出勤のまえに朝ドラの曲が流れ、いやおうなしに♪毎日難儀な事ばかり♪泣きつかれ眠るだけ～♪知らないうちに口ずさんでしまいます。いろいろな出来事が新聞の見出しとなり、この歌詞に今の世情を感じることがあります。「笑ったり転んだり」は、“人生は色々ありまっすぐじゃなくていい”というメッセージが、そっと背中を押してくれているように感じます。

昨年一年の主だった法人行事を振り返ってみますと、(HPより参照)

6月14日(土)「第2回楽レク大会」が開催されました。昨年度から始まり当日は天候に恵まれ、たくさんの方の利用者の方と保護者の方に参加していただきました。6月27日(金)「法人慰霊祭」を執り行いました。一年を振り返ると保護者の方も利用者様も亡くなられた方がおります。利用者の皆様、園児の皆様、ほうおん後援会の皆様、旧職員の方たちや職員が参列し、ご縁のあった方々のご冥福をお祈りし、献花を捧げました。今後も故人の想いを大切にしながら、日々の支援に努めて参りたいと思います。9月14日(日)「上野幌神社祭」が開催されました。法人からも神輿隊が出陣し、報恩学園、グリーンホーム厚別、くるみ寮の利用者総勢75名が参加いたしました。天気にも恵まれ、「わっしょい・わっしょい」の掛け声とともに無事終了いたしました。9月23日(火)「報恩まつり2025」が開催されました。サブタイトルが「つなぐ」というテーマになり、多くの方々からのご協力、ご協賛をいただきました。この日も晴天に恵まれ、皆様の明るい笑顔と活気であふれた一日でした。10月14日(火)『敬老のお祝い会2025』が開催されました。法人のご高齢の利用者様の健康を感謝し長寿をお祝いする会として今回は5名の方が還暦、4名の方が古希、1名の方が喜寿を迎えられました。ささやかではありましたが、お菓子と飲み物をご用意し、みなさんで和やかに楽しい時間を過ごしました。11月28日(金)創立107周年目の「創立記念日」が開催されました。30日が日曜日ということで、平日の28日(金)に記念行事を行いました。恒例の紅白まんじゅうを各管理者より受け取った後は、今年は「忠犬ポチ」の件で取材を受けテレビに放送されたので、そのビデオをみんなで視聴しました。その他として「地域貢献活動」もあり「すこやか倶楽部」「ほうおんクリーン DAY」「町内会合同防災訓練」「しいたけ収穫体験&法人見学会」「おたのしみ演芸会 in かみのっぽろ2025」等いろいろな企画を計画し開催することができました。関係の皆様方にはたくさんご協力いただき、心より厚く御礼申し上げます。

令和8年度は、人材採用の件で海外よりミャンマー、インドネシアの特定技能外国人を受け入れることとなりました(法人名称「I<アイ>スタッフ」)。人手不足の解消に繋がるのはもちろんのこと、職場のグローバル化や活性化の促進を図りたいと思います。

社会福祉法人を取り巻く社会情勢は刻一刻と変化しておりますが、干支の意味にもありますように、なんでも馬くいくとは思いませんが法人がさらなる発展を遂げていくことで、ご利用者様に安心と温もりのある生活をお届けできるよう尽力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。